

# 病児保育室「あんず」のチョットアノネ

テーマ：伝染性紅斑(りんご病)

No. 91 (2024. 12. 20)

## 伝染性紅斑(りんご病)の流行の兆し

宮城県では現在はインフルエンザの大流行が起きていますが、徐々に伝染性紅斑の流行が始まっています。伝染性紅斑(りんご病)は4~6年ごとの周期で流行を迎えてきました。伝染性紅斑はヒトパルボウイルスB19の感染により発病します。感染経路は飛沫感染もしくは接触感染ですが、妊婦さんでは垂直感染(妊婦さんから胎児に感染)も見られます。ヒトパルボウイルスB19に感染すると、約7日目に血液中にウイルスが出現し、その後感染から17日から18日目に顔や腕や下肢に発疹(紅斑)が出現します。発疹が出る前に頭痛、鼻汁、咽頭痛のみられることがあります。子どもではこれらの症状はほとんど認めません。成人では関節痛や関節炎が女性では約60%、男性では約30%に見られます。はじめにホッペに蝶型の赤い発疹が出現し、続いて腕や大腿に網目状、レース状、環状の赤い発疹が出ます(胸腹背にもでることがあります)。発疹は1~3週間ほどで消えますが、日光や熱や運動などにより再発する場合があります。



伝染性紅斑(顔)



伝染性紅斑(腕)

## 伝染性紅斑(りんご病)の合併症

① 関節炎・関節痛(前に記載)：2~4週間で自然消失、②紫斑病：皮下の出血斑です、③赤血球の造血機能の低下：溶血性貧血などの基礎疾患があると重症の貧血になります、約2週間で回復します、④胎児水腫：妊娠中に伝染性紅斑に感染すると、母体の症状は一般人と同じですが胎児に感染し、流産・胎児死亡・胎児水腫を起こすことがあります。ヒトパルボウイルスB19に感染した妊娠さんの約30%で胎児感染がみられ、その約1/3に胎児水腫が発生するといわれています。妊娠8週以前に感染すると流産が多く、その後の感染では胎児が重症貧血になり(赤血球を作る細胞の破壊と産生停止が起こる)、そして胎児心不全がおこり胎児の全身の浮腫と体液が保留した状態が生じ胎児水腫となります。妊娠中に伝染性紅斑にならないように十分注意をして下さい。

## 伝染性紅斑(りんご病)の治療と登校(登園)の目安

特別の治療法はありません、対症療法になります。感染後約1週間後のかぜ様症状のときにはウイルスが排泄され感染力がありますが、この時期には伝染性紅斑とはほとんど気が付かれませんが(診断不能)。伝染性紅斑の発疹が出て診断される時期にはすでに感染力が無いので、発疹が出ていても登校(登園)は可能です。

### 現在流行している病気は何ですか？

宮城県内では：第1位 インフルエンザ、第2位 新型コロナ、第3位 感染性胃腸炎  
亶理郡内では：第1位 インフルエンザ、第2位 感染性胃腸炎、第3位 新型コロナ

## 大友医院病児保育室「あんず」より

亶理地域ではインフルエンザの爆発的大流行が始まりました。新型コロナウイルス感染症も徐々に増加する傾向にあり注意が必要です。やっと手足口病は減少してきました。インフルエンザはさらに増加する可能性がありますから、手洗い、マスク、咳エチケットなど基本的な感染防止に留意し、人が集まり混雑する場所にはできるだけ近づかないようにしましょう。栄養をとり休息をとり体力の保持に努めましょう。

病児保育室「あんず」電話 0223-35-6455

